

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

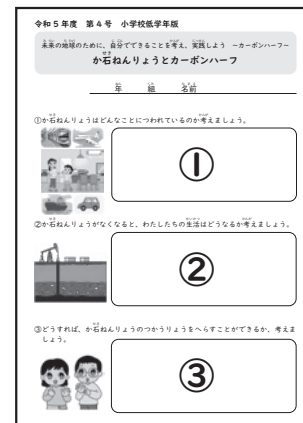
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ か石ねんりょうとカーボンハーフ

①表題







②ねらい

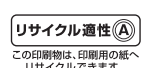
- ・化石燃料について知り、化石燃料と私たちの暮らしの関わりを理解する。
- ・化石燃料から電気をつくる際には、地球温暖化の原因である温室効果ガスが発生することを理解する。
- ・温室効果ガスを出さない発電方法（風力発電）があることを知る。
- ・東京都が発信するカーボンハーフ、HTTについて知り、自分たちが参加できる温室効果ガス削減方法についての考え、実践しようとする態度を育む。

③本教材で扱う 主な内容

化石燃料の種類、化石燃料と電気の関係、化石燃料の生成と枯渇、温室効果ガスを出さない発電への取組、自分たちにできる温室効果ガス削減対策

④主な活動内容

| 主な活動内容 | 指導の要点 | ◆推進資料との関連 ■関連リンク |
|--|---|---|
| ○ 掲示用教材①を見て、化石燃料について知る。 | ○ 化石燃料について説明する。 | ◆ 掲示用教材① |
| ○ 掲示用教材②を見て、化石燃料と私たちの生活の関わりについて考える。 | ○ 化石燃料が発電や乗り物を動かす燃料に使われていることを説明する。 | ◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート① |
| ○ 掲示用教材③を見て、化石燃料が無くなったら、私たちの生活はどうか考える。 | ○ 化石燃料のでき方や、そのまま採掘し続けると化石燃料が無くなることを説明する。 | ◆ 掲示用教材③ ◆ ワークシート② ■ 東京都環境局 TOKYO 環境学習ひろば 地球温暖化  |
| ○ 掲示用教材④を見て、発電と地球温暖化を起す温室効果ガスの関係について知る。 | ○ 発電と温室効果ガスの関係について理解させる。 | ■ 広報東京都こども版 これからの地球の ために不可欠! 「再生可能エネルギー」 ってなんだろう  |
| ○ 掲示用教材⑤を見て、風力発電について知る。 | ○ 温室効果ガスを出さない発電について紹介する。 | ◆ 掲示用教材④ |
| ○ 掲示用教材⑥を見て、どうすれば化石燃料を使う量を減らすことができるか考える。 | ○ リンクなどを参考に、自分が取り組むことのできるカーボンハーフを考えさせ、話し合わせる。 | ◆ 掲示用教材⑤ |
| ○ 「カーボンハーフ」を実現するために、自分が取り組むことを話し合う。 | ○ 話し合った中から、自分が取り組むことを決めさせ、発表させる。 | ◆ 掲示用教材⑥ ◆ ワークシート③ ■ 東京都教育庁 カーボンハーフスタイル チャレンジ  「HTT」アクション  |



みらい ちきゅう じぶん かんが じっせん
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~

せき
か石ねんりょうとカーボンハーフ

ねん
年

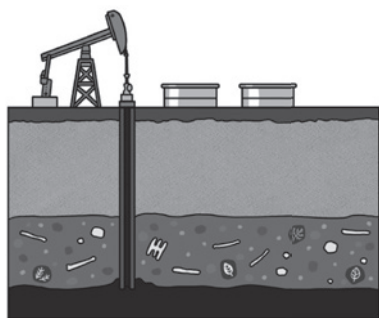
くみ
組

なまえ
名前

① ^{せき}か石ねんりょうはどんなことにつわれているのか^{かんが}考えましょう。



② ^{せき}か石ねんりょうがなくなると、わたしたちの^{せいかつ}生活は^{かんが}どうなるか考えましょう。



③ どうすれば、^{せき}か石ねんりょうのつかうりょうをへらすことができるか、考えましょう。

